

第4回

まなびあい・ふれあい・かんじあい～あいをつなぐ「図書館ひろば」報告書



図書館と市民をつなぐ会・相模原

第4回 まなびあい・ふれあい・かんじあい ～あいをつなぐ「図書館ひろば」報告書

図書館と市民をつなぐ会・相模原
代表 山本宏義

1. 日時:2013年2月11日(月祝)10:30～16:00
2. 場所:相模原市立図書館 2F (大集会室・中集会室・視聴覚室・廊下)
3. 主催:図書館と市民をつなぐ会・相模原(通称「つなぐ会」)
4. 後援:相模原市教育委員会
5. 協賛団体・個人:特定非営利活動法人 らいぶらいぶ、特定非営利活動法人 相模原エスティアート、門脇新聞店、湘北教職員組合、有隣堂(ミウイ橋本店・淵野辺店)、相模原市書店協同組合(中村書店・ブックスアミ・久保田書店・ブックス山田・相模書房・中村書店田名店・三基書房・ナカムラ・カクダイ書店・渡辺書店・山本書店・紀伊國屋書店伊勢丹相模原書店・敏正堂)(順不同)
6. 平成24年度相模原市市民・行政協働運営型市民ファンドゆめの芽の助成金交付事業
7. 目的:この事業は、図書館の可能性や楽しさを知ってもらう機会を作ることによって、日頃あまり図書館に足を運ぶことがない人を含めて多くの市民が参加し、ますます市民の図書館利用を促進し、つなげ、広げていくことを目的とする。

8. 全参加人数 435名

9. 内容:「表題」講師(参加人数)

<まなびあいの総合ひろば>大集会室(合計104名)

- 10:30～10:35 開会のあいさつ
- 10:35～12:10
「ひとり語り」語り 小栗 久江さん(62名)
演目 平岩弓枝作『ちっちゃなかみさん』、藤沢周平作『山桜』

- ✚ 小栗さんの渾身の語りに、観客が引き込まれ、演者と聴衆と作品の一体感はすばらしいものでした。
- ✚ 各作品が40分くらいでしたが、あっという間の1時間半でした。



- 13:30～15:00
講演「絵本の中であそんでほしい～西村繁男の世界」絵本作家 西村繁男さん(42名)
(講演会当日、図書館のご協力で西村繁男さんの作品が展示されました)

- ✚ 西村さんのなぜ、絵本に取り組むようになったかというおはなしや、「おばけでんしゃ」という絵本の原画を映像で見せながら、面白い音楽をつけて流すという楽しい講演会でした。



<ふれあいのひろば>中集会室(合計101名)

- 「楽しく学ぼうエコパーク！」ーエコクイズ・エコ工作(10:30~12:00)
麻布大学環境サークル 2 団体(ISO 委員会・ビーな) (事前申込4名+当日参加8名=12名)

✚ 麻布大学の学生さんの企画。子どもたちに、身近な環境を知ってもらい、環境問題の関連性に気づいてもらうというコンセプト。サイコロをふって、双六をしながら、クイズに答えたり、プラバンのしおりを作りました。なかなか大学生と話す機会がない小学生は、優しいお兄さん、お姉さんたちと、楽しく会話しながら過ごしました。



- ワークショップ (10:30~12:00)
「作ってみよう！」どんぐり人形&どんぐり工作」 飛魚環境研究所
「むしむしでんしゃの切り紙でしおりをつくろう！」 藤野・図書館を考える会

✚ 切り紙も、どんぐり人形も、とても細かい作業なのに、小さな子どもたちは真剣に取り組んでいました。なによりも、企画した、藤野・図書館を考える会、飛魚環境研究所のスタッフのみなさんの、元気で楽しそうな雰囲気がお部屋に充満していて、それに引かれるよう到来場者が部屋に入っていくようでした。出来上がった作品を、嬉しそうに持って歩いている子どもたちが印象的でした。

飛魚環境研究所(25名)

藤野・図書館を考える会 (35名+付き添い7名=42名)

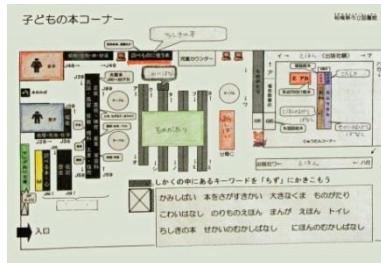
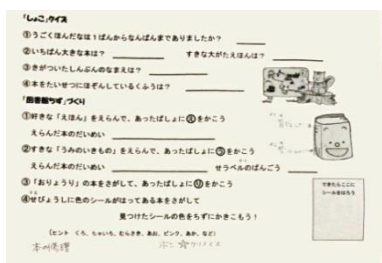


- 「視覚障害者のための音訳体験／デージー試聴・点字印刷」(13:00~16:00)
相模原市録音奉仕会(13名) NPO 法人パラボラ ジャパン(4名)



- 「図書館を探検する ～図書館の地図を作ろう～ (13:00～14:00)
NPO 法人らいぶらいいぶ・つなぐ会(事前申込1名+当日参加4名=5名)

✚ 児童コーナーの地図が載っているワークシートに、クイズに答えて、色々書き込んでいきました。
地下にある書庫を探検して、可動書架を動かしてみたり、普段知らない図書館を見ることができました。
最後に、集会室にもどって、地図を完成させて参加賞をもらった子どもたちは、ちょっと達成感のある笑顔を見せてくれました。



＜かんじあいのひろば＞視聴覚室 (10:30～15:00)

- おはなしワニーズ(大人87名+子ども78名=165名)
おはなしワニーズのおはなし会(11:00～・14:00～)
- ✚ 今年は、10:30～3:00 の1日開催しましたので、ゆっくりと楽しんでもらえました。(昨年までは、午前中のみで開催)。参加者は、お母さんとお子さんが一番多いのですが、おばあちゃんと一緒に、イクメンパパも数組、車椅子のお子さんのご家族、施設の先生とお子さん、読み聞かせボランティアの方々、教育関係の方々などにぎわいました。布の手づくりのやさしさ、温かさ、やわらかさに触れていただき、仕掛けのある作品から遊びを作り楽しまれたようでした。昼食を済ませてもう一度来てくれた子、お別れを惜しむ子など、いつものお馴染さんもいて、とっても楽しい時間を共有出来ました。
- ✚ おはなし会は、会場のみなさんとの対話をしながら進めて楽しんでいただきました。
- ✚ 3日前に訪問した二本松こどもセンターでお会いした数組のお母さんと幼児さんが来てくれました。おはなし会のプログラムがダブらないように、急遽変更しました。
- ✚ 3時に終了の時、大きなトンネルをくぐってさようならをしました。

一展示作品一

壁布シアター 昔話「浦島太郎」

グリム童話「ヘンゼルとグレーデル」などの8点。

布えほん「はらぺこあむし」「わたしのワンピース」「どうようえほん」など40点。

エプロンシアター「三びきのやぎのがらがらどん」「おたんじょうびおめでとう」など8点。

布おもちゃは「大きなデコレーションケーキ」が大人気、ままごとセットでお弁当やサンドイッチを作り。

✚ 特に小さなお子さんと小学生がゆっくり楽しみました。

一おはなし会の内容一

11:00～

導入：ふうせん

布えほん：しりとりのだいすきなおうさま

あてっこ：ひっぱってみよう

壁シアター：おばあさんとぶた

14:00～

導入：わにのかぞく

布えほん：ライオンさんカレー

壁シアター：おおかみと7匹のこやぎ



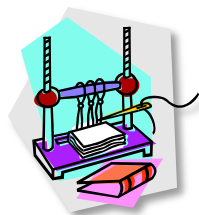
帰りのおまけ @布えほん：ちいさなまじよのキッチン @エプロンシアター：まいごのこねこちゃん

＜実演と掲示のひろば＞ 廊下(合計 60名)

➤ 「本の修理実演」(13:30～15:00)

篠崎智子さん(市立図書館修繕ボランティア)(30名)

- 和綴じの本の修繕のしかたや、糊で貼るタイプの修繕のしかたなど、細かく緻密な仕事をゆっくり実演してくださったので、立ち止まって作業に見入る人も多かったです。学校図書館図書整理員の方が来て、質問攻めにしていました。その質問に対して、丁寧に応答し、実際に見せてくださいました。見ている方から、「教えて欲しい!」という声も出ていました。



➤ 「参加団体・個人の紹介・展示及び情報コーナー」(10:30～16:00)

小栗久江さん・西村繁男さん・麻布大学環境サークル2団体(ISO委員会・じーな) 飛魚環境研究所、藤野・図書館を考える会、NPO法人パラボラ ジャパン、相模原市録音奉仕会、NPO法人らいぶらいぶ、おはなしワニーズ、図書館と市民をつなぐ会・相模原(30名)

- 各団体、参加者の紹介&展示を興味深く見ていた方が多かったです。特に、小栗さんや西村さんの掲示は、講演や語りに参加した方が、終わったあとにじっくりと見ていました。つなぐ会の「学校図書館」「公民館図書室」「読み聞かせボランティアマップ」などにも興味を持って見てくださる方が何人もいました。



10. ＜スタッフ・ボランティア・協力団体 参加人数＞(合計 46名)

- ・「ひとり語り」(1)+講演(1)
- ・麻布大学環境サークル2団体(6)
- ・飛魚環境研究所(2)
- ・藤野・図書館を考える会(5)
- ・NPO法人パラボラ ジャパン(3)
- ・相模原市録音奉仕会(6)
- ・NPO法人らいぶらいぶ(2)
- ・おはなしワニーズ(8)
- ・本の修理実演(1)
- ・図書館と市民をつなぐ会・相模原スタッフ(9)
- ・その他ボランティア(2)



11. アンケート集計結果（回収数 61枚）（人数）



1、あなたの男女別、年代、地域名を教えてください。

<性別> ①男(8) ②女(51)

<年代> ①～10代(0) ②20代(0) ③30代(3) ④40代(8) ⑤50代(12)
⑥60代(17) ⑦70代(19) ⑧80代～(2)

<地域> ①緑区(5) ②中央区(29) ③南区(18) ④その他(4)（札幌1, 町田2）

2、「図書館ひろば」を、何でお知りになりましたか？

①図書館(20)（鹿沼台(10)・相模大野(8)・橋本(1)・相武台(1)）

②公民館(2)（大野台1, 不明1）③FMさがみ(1) ④広報さがみはら(16) ⑤J.COM(0)

⑥駅のポスター(0)（淵野辺・矢部・南橋本・古淵）⑦知人より(9)

⑧図書館と市民をつなぐ会・相模原 ブログ(2) ⑨朝日リビングまちだ・さがみ(1)

⑩ショッパー(1) ⑪あさのポケット(0)

⑫その他（読み聞かせボランティアから(1)、ほうむたうんの小栗さんの記事から(13)、カナリアの森で聞いた(1)）

3、今日は、何を目当てにいらっしゃいましたか？

<講演会等> ①ひとり語り～小栗久江さん(46)

②「絵本の中であそんでほしい～西村繁男の世界」(16)

<中集会室> ③本の修繕実演(4) ④図書館探検(2) ⑤切り紙ワークショップ(3)

⑥視覚障害者の読書(2) ⑦麻布大学エコパーク(2) ⑧飛魚環境研究所ワークショップ(3)

<視聴覚室> ⑨おはなしワニーズ(4)

<その他> ⑩図書館にきたらやっていて面白そうだったので(0)

⑪その他（なし）

4、第4回「図書館ひろば」についてのご意見、今後のご希望など なんでも ご遠慮なく、ご記入下さい。

<小栗さんについて>

・素晴らしい語りだった。また聞きたい。(11)

・もっと告知して沢山の人来てもらえるといい。

・素敵なイベントを有難うございます。次回も楽しみです。語りに引き込まれました。”力”をいただきました。

・とても良かったです。自分でも読み聞かせボランティアを小学校でしておりますので、参考になりました。

・小栗さんの「ちっちゃなかみさん」良かったです。いいお話だと思いました。優しいきれいな声の語り口で、その情景が思い浮かぶようでした。「山桜」の えさんは、少々ぶりっ子のような感じを受けました。ごめんなさい。

・すばらしい語りで大感激。涙、涙で聞いた「ちっちゃなかみさん」でした。

・小栗さんの語りを聞きたくて伺いました。とても良かったです。他のイベントも楽しませて頂きます。

・図書館は本だけかと考えていたのが「ひとり語り」を初めて聞き、すばらしい企画に出会えて感謝です。感動しました。またの機会に期待を込めて、ありがとうございました。

・娘の自宅でこの企画を知りました。（広報さがみはら、札幌の方）「ひとり語り」とても感動しました。

・情感込めすぎかなあと思うところがいくつかありました。会話のところに重点が置かれ、間の文が滑るように早く進むところがあって、少しだけ気になりました。

・「ひとり語り」小栗さんの語りを堪能させていただきました。今後ご計画いただけたら、うれしく思います。

<西村さんについて>

・西村先生の話は大変面白かったが、参加者が少なくもったいない。

・西村先生のシーゲル堂、是非伺いたいと思います。

・絵本を作るようになったお話には、とてもにんげんらしさがあふれていて自分の心に正直に製作していらっしやるところが素敵だと思いました。私は、40過ぎて絵本が好きになって少しずつ読んでいます。これからも沢山読みたいと思います。

・西村先生へ「がたごと がたごと」は、内田(麟太郎)さん側の話も聞いていたので、興味深い話でした。岩国市出身なので、上の関の話も楽しみです。スライド、思わず笑ってしまいました。

- ・知らない人も多いと思うので、当日より前から、1F の絵本コーナーに西村さんの原画を展示するなどして、興味を持ってもらったらいいと思います。せっかくの機会なのに、人が少なくて残念でした。
- ・マイクの音が小さすぎてお話が聞きにくく、残念でした。
- ・西村繁男さんのお話もとても良かったです。
- ・素敵な話を有難うございました。

<図書館探検について>

- ・子ども向けのワークショップも楽しく参加できたようです。

<飛魚環境研究所について>

- ・子どもと一緒に楽しく工作出来ました。有難うございました。
- ・ほのぼのとした時間が過ごせました。有難うございました。



<全体について>

- ・次回も楽しみです。(3)
- ・大集会室が寒かった。色々な事情は理解しているつもりですが、もう少し暖かくしていただけたらと思います。(3)
- ・図書館・書籍、その周辺の文化活動について興味をもつ人が増えてほしい。そのための活動を今後もよろしくお願い致します。
- ・参加者が少ないのは、「図書館ひろば」という名称が硬いから？会場が2階だから？1階の閲覧室が静かに・・・という気兼ねがあるのでしょうか？もっと市民が参加できるフェスティバルのようなのがあったらいいのにとします。本に限ったフリマとか、絵本や紙芝居の読み聞かせも同時にあってもいいのでは？
- ・朗読等、大人も楽しめる行事を盛り込んで頂きたいと思います。
- ・バラエティに富んだ企画が素晴らしいと思います。係の方が生き生きと仕事をされているのに感動いたしました。

12. 反省会

- ・全体的に参加人数の少なさには、課題が残る。アンケートにも「バラエティに富んだ企画が素晴らしい」というコメントをいただきました。開催前、当日の宣伝・アピールの工夫を考えていきたい。
- ・西村さんのPRのために、本の展示だけでなく、1週間くらい前から原画を展示するとよかった。
- ・ミニコミ紙(読売新聞)「ほうむたうん」に小栗さんの紹介があり、効果が大きかった。
- ・ワニーズさん目当ての来場者が多かった。日常の活動の場面でのPRが効果的だったのではないかな。
- ・ワニーズさんの開催時間が長かったのがよかった。参加する側も主催する側も落ち着いて楽しめた。
- ・視聴覚室の前方を入り口にしたのはよかった。職員も協力的だった。
- ・どんぐりコマや西村先生の講演とワニーズ両方を兼ねての参加が多かった。
- ・大集会室の入り口前に看板が必要。今何をやっているかがわからなかった。
- ・廊下で中集会室に案内あるいは呼び込みする人がいた方がよかった。掲示物についても説明する人がいた方がよかった。
- ・チラシができた時点で、来年は学校に配布のお願いをしたい。
- ・麻布大学の人たちはとても上手に子どもたちと接していた。
- ・本の修繕は、廊下だったのでかなり多くの人に関心を持って見てくれた。
- ・パラボラさんからは、お客さんが少なかったとの声があった。
- ・広報さがみはらの原稿の書き方にもう少し工夫が必要だった。タイトルだけだと内容が想像できない。たとえば「楽しく学ぼうエコパーク」ってどんな公園ですかといった問い合わせがあった。
- ・申し込みが必要な事業とそうでないものとの区別が明確になっていなかった。
- ・パネルの借用は、運搬など大変だった。そのため、リハーサルが予定時刻よりもずれこんだ。労力などのことを考えると、パネルなしでできるように工夫する必要があるのではないかな。
- ・終わりの時間をそろえた方がよい。4時になる前に片付けを始めるところがあって、まだやっているところに人が入りにくかった。
- ・図書館探検について、書庫だけでなく図書館の中も職員に説明してもらえるとよかった。

12. 広報 実績

<紙面掲載>

- ◎広報さがみはら 2013,2,1
- ◎リビングニュース町田、相模原版 2月2日号
- ◎ほうむたうん〔読売新聞〕2013,2,5号〔毎5日発行〕小栗久江さんの記事にひろばの紹介
- ◎あさのポケット 朝日新聞 2013,1,27(日) 第4日曜日 中央区内5600所帯
- ◎JR 駅掲載: 淵野辺、古淵、矢部、南橋本
- ◎ショッパー

<放送>

- ◎FMさがみ「ブックらいぶ」 2013,1,5(土), 12(土)
- ◎JCOM

<HP・メールマガジン>

- ◎つなぐ会ブログ 2012,12,7
- ◎さがみはら市民活動サポートセンターメールマガジン 第109号 2013-1-9
<2012,12~2013,2>チラシ配布先
- ◎市立図書館、橋本図書館、相模大野図書館、相武台分館、18箇所の公民館とその図書室、
市立図書館(鹿沼台)視聴覚室の映画の集いで配布、相模原市の広報課・生涯学習課・
市民協働事業推進課、市民活動サポートセンター、記者クラブ、市内書店

資料:プログラム

以上



図書館と市民をつなぐ会・相模原

本報告書に掲載された写真を無断で使用しないでください。